

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年8月17日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(4日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	江別市		代表者名	市長 三好昇
担当者部署	企画政策部		連絡先電話番号	011+-381-1009
担当者役職	課長	担当者氏名	小関高人	連絡先E-mail
住所	067-8674 北海道江別市高砂町6番地			

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	山形 巧哉
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	行政の事情に寄り添った状態から課題を一緒に整理してくれたので、無理なく理解が深まった。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年8月10日	10時00分	11時30分		90
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	市民協働のまちづくりにおいては、市の広聴活動の中で寄せられるメールや投書など「市民の声」を公開せよという考え方が議会の一部にあるが、現実には「市民と共有べきまちづくりの課題」とはかけ離れた内容であるため苦慮している。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	多数を占めるサイレントマジョリティ=声なき市民意識を吸い上げ、協働のまちづくりを促進するような情報共有(情報発信)を目指す。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	インターネット上の開かれた場で市民参加の議論ができる「Decidim」というツールの紹介をいただいた。オープンソース	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	すぐには解決できないが、ICTを活用してより良い形の市民協働が進む可能性があり、それに伴う情報発信の形について、将来的な展望が描けたことが有意義だった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	特になし	

アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。）アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
 今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

